

# いちかわ

# 市議会だより

市川市議会は毎年2月、6月、9月、12月に定例会を開きます。市議会だよりは5月、8月、11月、翌年2月に各定例会号を発行(新聞折り込み)し、審議内容をお知らせしています。



令和7年 乙巳

三番瀬(さんばんぜ)に昇る朝日

## ◇新年のごあいさつ◇

市議会議長 稲葉 健二

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、令和7年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より本市の市政運営並びに市議会活動に対しまして深いご理解と温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年を思い返しますと、1月1日に発生した能登半島地震をはじめ、たくさんの自然災害が日本各地に甚大な被害をもたらし、改めて自然の力の脅威を知らされた年となりました。

一方、スポーツでは、パリで開催された、夏季オリンピック・パラリンピックにおいて、日本選手が獲得したメダル数が史上最多を更新したことや、米大リーグでの、大谷翔平選手の活躍が世界中を沸かせました。その輝かしい姿は、次世代を担う青少年に新たな希望と勇気を与えたことと思います。

市政におきましては、昨年11月3日に市制施行90周年を迎え、同時に市川市議会も開設90周年という節目を迎えました。市議会では、様々な団体が「議場」という場をステージとして演奏・演技を披露した「議場コンサート」を開催したほか、市内小中学校の児童生徒の皆さんに市川市の将来、自分自身の将来について書いていただいた「作文コンクール」を開催し、議場にて表彰式を行いました。「開かれた議会」を目指し、市民の皆様が市議会をより身近に感じていただく大変意義のある機会となりました。これからも「開かれた議会」を目指してまいります。

さて、本年は、100周年に向け、また、その先の未来への第一歩を踏み出す初めの一年となります。しっかりと地に足を付けたスタートをいたします。私ども市議会は、社会情勢の動向を注視しながら、これまで以上に市民の皆様の声に耳を傾け、議員一人ひとりがその責任と使命を果たし、日々研鑽し、不断の決意をもって、邁進してまいります。

新年にあたりまして、改めて、皆様方のさらなるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって、実りある幸多き年になりますよう心からお祈り申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

市議会副議長 つちや正順

新年おめでとうございます。

令和7年の新春を市民の皆様とともに迎えられることを大変うれしく思います。また、日頃より本市議会の運営及び活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和7年の干支は「巳」です。巳年は、転機の年、実を結ぶ年とも言われております。今、私たちの暮らしているのは、物価の高騰や子どもたちの減少、自然災害への懸念など、大きな転換点の中にあります。市議会では、こうした諸課題に対していち早く対応すべく、国や県の動向だけに捉われないことなく、市川独自の施策について審議を尽くし、議決、承認をしております。本年も市民の皆様との命と暮らし、その声を市議会の中心に据えて、市議会全体で切磋琢磨をし、知恵を出し合い、市政運営に努力していく決意であります。

どうか皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

結びとなりますが、本年が皆様にとって豊かな実を結ばせる年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。